

やまが 市議会だより

第27号

9月定例会

令和2年11月1日
発行／山鹿市議会



鹿本小学校開校記念大運動会
開会式の赤白団長による「誓いの言葉」

《もくじ》

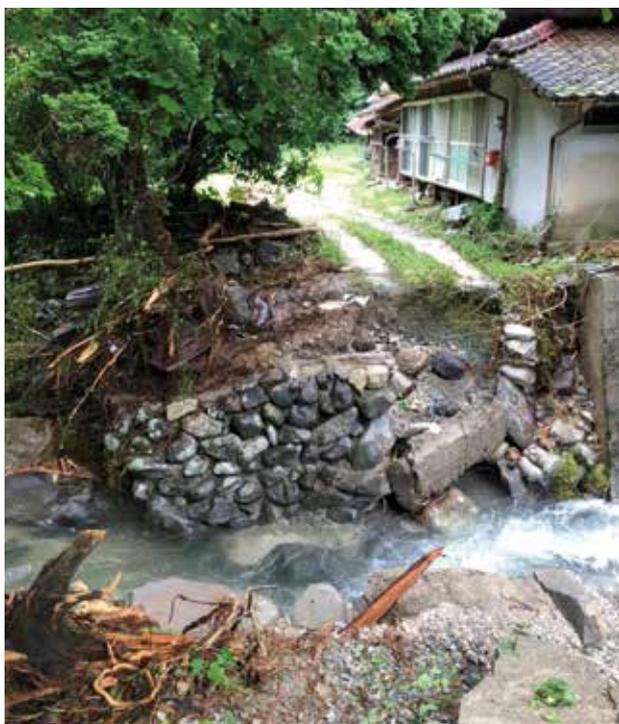
- ・ 常任委員会審査と報告……………2～3
- ・ 市政のここが聴きたい……………4～7
- ・ 審議結果・賛否表・討論等………8～9
- ・ 議会のデジタル化へ……………10
- ・ 開かれた議会を目指して……………11
- ・ 議会の主な動き……………12

「令和2年7月豪雨災害」



菊鹿町今村

局地的な豪雨が爪痕を残す



鹿北町多久



菊鹿町割石



平山



鹿北町多久

建設経済常任委員会では、7月20日に被害状況を確認するため、現地調査を行いました。

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎委員長
○副委員長

建設経済常任委員会

9/4 開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三 横手 啓介
池田 誠一 藤原 豊 立山大二朗

◆付託案件 議案3件…承認・可決
認定8件…認定

◆主な審査内容

令和2年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号)

令和2年7月豪雨の被害を受けた復旧工事と今後の対応は

津留配水池の送配水管脱落の応急復旧工事を行った。来年度には設計にとりかかり、再発防止に努める。

濁り水による給湯器等の故障への対応は

今回の補正予算の中に、災害復旧に伴う業務委託費として、給湯器等の修理分も含まれている。

令和元年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について(中所管)

浄化槽設置整備事業の対象者と利用者は

公共下水道事業認可区域外及び農業集落排水事業等の整備地域外において、合併処理浄化槽の設置者に対する助成を継続して実施。約9000人を対象とし、7068人の利用がある。

市営住宅の入居状況は

現在の管理戸数1451戸中、空き室が約90戸である。

入居に際しての保証人制度について、民間保証会社の利用等は。また、老朽化した住宅の建て替えは

保証人制度は、滞納抑制など効果が上がっているため、現在のところ維持する。老朽化に関しては、市営住宅の長寿命化計画等を策定中であり、再生手段についても情報を収集し検討する。

市民福祉常任委員会

9/8 開催

◎堀 茂幸 ○吉本 政幸 永田 紘一
有働 辰喜 芋生よしや

◆付託案件 議案5件…承認・可決
認定5件…認定

◆主な審査内容

令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)(中所管)

インフルエンザの予防接種を年齢拡大して行うとのことだが、これまでの6か月から18歳までの費用助成について市のホームページに記載がないのは

今年のインフルエンザ予防接種は10月1日から12月30日を予定している。受託機関等を鹿本医師会と調整したのち、ホームページに記載する。

新たな助成では補助額が3490円(自己負担1500円)とのことだが、対象人数はどれくらいを見込んでいるのか

今回の対象者は19歳から64歳までで2万4231人。これまでの実績を参考に50%の接種率とみて予算算定している。

令和元年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について(中所管)

空き家調査、登録状況はどうか

今年4月移住相談窓口を旧来民郵便局に移転して、改めて空き家の再調査にあたっている。資格を持った相談員が、専門性をもって対応し、相談も受けている。空き家バンクの登録物件、利用者についても順調に伸びている。

総務文教常任委員会

9/9 開催

◎寺崎 勇児 ○服部 香代 平井 邦廣
小川 正美 富丸洋一郎 勢田 昭一
榮二

◆付託案件 議案4件…承認・可決
認定1件…認定

◆主な審査内容

令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)

タブレット端末機が全校生徒・児童に導入されるがその通信方式は

LTE方式で行う。なお5年契約としており、その後はWi-Fi方式も検討したい。

タブレット端末機が導入される時期とその指導について

生産体制が整いつつあるので12月以降に導入予定。8月からICT支援員を配置、有効活用を努める。

令和元年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について

スクールバスの契約は、単年度、複数年度か

契約は3年間としている。

消防職員の定数は何人か。パワハラ事案はないか

定数は85人で、現在の職員数は78人。近隣の消防署で事案が発生しているが、本署では、調査を行ったがパワハラと認められる悪質な行為はなかった。

市政のここが聴きたい!



こちらのQRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市ホームページ → 市議会一覧 → 定例会の様子

の順にクリックしてください。

市政課題に対する市長の思いについて

質問 新型コロナ・豪雨災害対策など、この難局を乗り越えるには中嶋市長の熱意が必要と考えるが、次期市長選への思いは

答弁 市長

単刀直入に、今限りで政治の世界から身を引く決意をした。

平成17年に新しい山鹿市が誕生し、それから16年、市政運営の先頭に立ち、多くの課題や困難に正面から向き合い、取り組んできた。この間、議員各位、市民の皆様、そして身近で支えてくれた職員の皆様への感謝の気持ちが全てである。

私が4期目の選挙に当たって掲げたフレーズ、言葉は「ふるさとの地よ青年であれ!」である。愛するふるさと山鹿市が青年のごとく、常に若々しく元気であれ!多くの困難にもめげず、希望を持って前進、そしてたくましく挑戦する山鹿市であってほしいと願いながら市政運営に取り組んできた。

時代が日々変化する今日にあって、今こそ若い力、若いリーダーが必要であると強く感じている。自らが身を引き、若い人に託すことで必ずや、その期待に応えてくれるものと確信している。

せりかわ まさみ
芹川 正美 議員



任期満了を迎える最後の1日まで全身全霊をかけた職務に当たってまいります。



山鹿市役所本庁舎



きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員

**新型コロナウイルス感染症対策
(新しい生活様式に向けた諸施策の具体化)**

質問 介護・福祉分野におけるロボット技術やICT等の導入を用いたケアモデルの支援について取り組みは

答弁 福祉部長
介護・福祉分野においても、全国でロボット技術やICT等の活用に向けた様々なモデル事業が実施され、本市においても一部の事業所ではロボットが導入され、従事者の負担軽減につながっているとお聞きしている。
ICTが得意な分野を効率化することで、本当に人が担うべき業務に時間をかけることが、利用者へのサービス向上、介護福祉人材の確保につながるものと思われるので、先進事例等を参考にしながら、本市における活用の在り方について、今後も検討を進めていく。



たてやま だいじろう
立山 大二朗 議員

災害時における避難について

質問 避難勧告・避難指示の発令について、日が落ちて暗くなってからでは、特に高齢者や体が不自由な方の避難が困難となる。夜間の発災が予測される場合は、早めの指示等が必要では

答弁 総務部長
近年の気象現象は短時間に甚大な被害をもたらすため、早めの避難により命を守る行動をとることが最も重要。7月豪雨の経験から、未明の避難を避けるよう、早めの避難行動につながる仕組みを地域住民の皆様と構築する必要がある。

質問 避難所への誘導と対応について、どのような手段があるか。また、被災状況の情報発信は

**新型コロナウイルス感染症対策
(第2波に備えた対策)**

質問 PCR検査の充実、並びに秋以降のインフルエンザの流行も見据えた検査および医療提供体制の整備を行う必要があると考えるがその見解は

答弁 福祉部長
新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者や、その濃厚接触者が、必要に応じて速やかにPCR検査を受けられることが重要である。そのための検査体制としては、これまでのところ、保健所の努力もあり、適切に実施されてきているものと考えている。
ただ、今後の感染拡大を見据えた検査体制の拡充は必要であり、山鹿保健所との協議を行っている。熊本県は、県内の検査能力について、現在の1日当たり322件から10月ごろまでに約1,400件に増やす方針としており、県内各地域で、医療機関等での検査体制が拡充される見込みである。



答弁 総務部長
避難所を開設する場合、防災行政無線、市ホームページ、やまがメイト、Twitter、テレビ情報デタポン、メールなどの手段を用いて情報発信を行っている。さらに災害の危険性が高まった場合は、広報車や消防団の協力を得て市民一人ひとりに情報が伝わり避難行動につながるよう努めている。

今回の災害を教訓とし、将来への備え・意識醸成のため「広報やまが9月号」で特集を組み、氾濫危険水位を超えた岩野川の水位のデータや消防団・地元区長の声を掲載して啓発を行った。
市道等の交通規制箇所などの被害情報は、地元区長を通じて住民に伝えているが、規制の長期化も想定し、今後は市ホームページややまがメイト等を活用し、継続的に防災・災害に関する情報発信を行う。



令和2年7月豪雨を受けての対策・対応について

質問 ①本市における農業用ため池数と今回の被害数
②農業用ため池の改修工事の要件（防災・老朽の観点）

答弁 経済部長

①本市の農業用ため池は、259ヶ所。被害数は12ヶ所。
②防災を目的とした改修工事は、防災受益面積が7ha以上、想定被害額4千万円以上、かつ受益者面積がおおむね2ha以上のもので、総事業費が800万円以上のものが対象。負担割合は、国55%、県34%、市9%、地元2%となっている。

老朽ため池の改修工事は、農村地域防災減災総合計画、または、農村地域防災減災推進計画に位置づけられた事業。更に、ため池緊急対策以外のもので、施設長寿命化計画等が策定されており、かつ受益者面積がおおむね2ha以上の者が対象。負担割合は、国55%、県29%、市14%、地元2%となっている。



農業用ため池（菊鹿町）

新型コロナウイルス感染症対策

質問 市民を感染から守るための対応は

答弁 市長

「新しい生活様式」実践、「発熱・トリアージ外来」の設備、医療従事者への特別手当支給など医療体制整備を進める。

質問 ①「発熱・トリアージ外来」の進捗は
②一般診察・入院受け入れは

答弁 市民医療センター事務部長

①備品・資器材調達段階で、10月末完成予定である。
②通常診療を継続している。検査等がない場合には電話で医師の診察・薬の処方も可能となっている。

質問 ①PCR検査の方針は
②集団感染のリスクが高い施設職員の検査をどう考えるか

答弁 福祉部長

①検査体制拡充は必要で、山鹿保健所と協議している。
②感染の影響が大きく、優先的な検査は有効である。

質問 新しい生活様式に沿った学校生活や少人数学級をどう進めているか

答弁 教育部首席教育審議員

県のガイドラインに沿って行い、養護教諭等による心身ケアにも努めている。

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



新型コロナウイルス感染症を受けての対策・対応について

質問 農業分野一特に①お茶②ワイン用葡萄への影響とその支援

答弁 経済部長

①お茶の生産は、例年通りであったが、新茶の販売時期を直撃し、イベントや販促活動ができず、販売が低迷した。

市として山鹿市産の農畜産物の需要喚起や消費拡大を図る目的で創設した「農業経営体緊急支援事業」の支援対象品目として追加し、茶業関係者に周知を図っている。山鹿市茶業振興協議会として、消費拡大の取組が予定されているので積極的な活用を推進することにより対策を講じる。

②ワイン用葡萄は全て契約栽培のため、生産調整や廃棄等もなく、価格等への影響はない。市として、菊鹿ワイン生産振興協議会と連携しながら、販売強化支援やPR活動を図る。

いもう
芋生 よしや 議員



少人数指導の教員加配予算が来たので、大規模校を中心に人員確保に努める。

豪雨・コロナ禍における避難所について

質問 県南の状況を見て市の対応をどう考えたか

答弁 市長

近年の気象現象では、日頃からの十分な備え、適切な避難勧告、避難指示の発令で、早めの避難行動へとつなげることを市民と共有することが重要。

質問 コロナ禍における避難所の現状と課題点

答弁 総務部長

7月豪雨時は、感染不安から避難者が減少したとも考えられる。安心して利用できる避難所、早めの避難を促す取り組みを進めていく。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

教育総務費補正分の学校再編事業委託料について

質疑 米野岳中学校区統合小学校住民訴訟（公金支出差止等）に係る弁護士報酬が計上されているが高額なのは、これまでの支払い分を含めた弁護士費用の総額は

答弁 教育部長
裁判の判決確定により弁護士に今回支払う報酬額は4,290,000円、熊本地裁提訴時着手金1,107,253円、福岡高裁控訴時着手金2,004,991円の合計7,402,244円となる。

小中学校へのタブレット機器の導入時期と事業費について

質疑 本年度当初予算で市内小中学校児童生徒3名に1台、および全教員配備分（1,600台）を議決、残り3分の2は来年度配備予定が今補正で残りの配備台数全てを計上、導入時期と補正事業費の内訳は

答弁 教育部長

国が示した年度内に1人1台とする配備方針と「公立学校情報機器整備費補助金」の採択を受けたことで、残り2,535台を本年12月に導入予定、補正総事業費約5億2千万円は5年間のリース契約設定による支出、今回の補正額3,460万円は、導入後の本年度分支出見込額である。

避難所について

質問 「山鹿市総合防災マップ」には自主避難所の掲載がなく、当初開設する6か所と運営方法を周知するためのチラシ配布を、また山鹿市総合体育館をコロナ禍の今、7か所目として加える考えはないか

答弁 総務部長

自主避難所・各避難所の位置付け・運営のあり方等、浸透しきれていない部分がある。早期避難行動に結びつくように、お願い・お知らせを行い周知を図る。山鹿市総合体育館は災害状況、避難勧告、避難指示等の状況により追加開設することとしている。

※他に弁護士報酬算定根拠、タブレット導入後の利活用計画、自主避難所開設基準及び自主避難所・避難所・避難場所の違いについて質疑・質問を行った。

ころう君と学ぶ！ 「議会用語の基礎知識」

「質疑・一般質問」ってなんだコロ～？

チヨマツ：今日は山鹿市議会の傍聴に行くよ！
 ころう君：議員さんが前に立って、何か聞いているコロ～？
 今日の日程は、「質疑・一般質問」と書いてあるコロ～！
 「質疑」と「一般質問」って何が違うコロか～？
 チヨマツ：ころう君は、「議案」って知っているかな？
 ころう君：市長や議員が提案する市の計画や予算（お金の使い方）、条例などを「議案」というコロ！
 チヨマツ：よく知っていたね！その議案の説明を聞いて、不明な点や詳細に質問することを「質疑」というんだよ。
 ころう君：「一般質問」は何だコロ～？
 チヨマツ：「一般質問」は、市長や行政の人たちに、市政に関わる質問をすることで、市長の考え、市の方針、現状や今後の見通しなど、幅広く尋ねることができるんだよ。
 ころう君：ぼくの大好きなおにぎりの質問をしてほしいコロ～♪
 チヨマツ：（それは難しいと思うよ・・・）



ころう君

「ミュージアムキャラクターワード2020」で、日本一になったコロ～♪
 応援してくれたみんな、ありがとうコロ～！



チヨマツ

ころう君
おめでとう！
おにぎりパワーのおかげだね♪

令和2年(第4回)9月定例会審議結果及び賛否一覧

○は賛成 ●は反対 (議長は採決には加わりません)

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第62号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第4号))	承認	全会一致																	
議案第63号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号))	承認	全会一致																	
議案第64号	山鹿市手数料条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																	
議案第65号	令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)	可決	全会一致																	
議案第66号	令和2年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致																	
議案第67号	令和2年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致																	
議案第68号	工事請負契約の締結について	可決	全会一致																	
議案第69号	財産の取得について	可決	全会一致																	
認定第1号	令和元年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和元年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和元年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和元年度山鹿市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第5号	令和元年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和元年度山鹿市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第7号	令和元年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第8号	令和元年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第9号	令和元年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第10号	令和元年度山鹿市水道事業会計決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第11号	令和元年度山鹿市病院事業会計決算の認定について	認定	全会一致																	
認定第12号	令和元年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について	認定	全会一致																	
意見書案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号	過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定に関する意見書	可決	全会一致																	
意見書案第3号	国土強靱化の継続・拡充を求める意見書	可決	全会一致																	

常任委員会審査と報告

市政のことが聴きたい

審議結果・賛否表・討論等

議会のデジタル化へ

開かれた議会を目指して

主な議案

議案第62号 専決処分の承認を求めることについて
(令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第4号))

○被災者支援……………1032万2千円

○応急対策・測量設計

・衛生施設(水道)……………2200万円

・農業用施設……………3億1020万6千円

・林業施設……………1億2215万7千円

・公共土木施設……………2億1899万8千円

・その他……………846万9千円

7月豪雨により被害を受けた被災者支援及び、林業施設、土木施設等の災害復旧に係る経費

議案第65号 令和2年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)

○豪雨災害対策関連……………23億2350万円

・農林業施設、土木施設等(合計1106件)に係る災害対策関連……………4300万円

○新型コロナウイルス感染症対策……………4300万円

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を抑制し安定的な医療提供体制を確保するもの。助成対象は19歳から64歳。(18歳以下及び65歳以上は既存助成制度あり)

認定第1号 令和元年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

◎認定第1号

議席番号5番 有働 辰喜

議席番号3番 芋生 よしや

令和元年度末で3年契約の業務委託契約期間が終了した遠距離通学対策事業費のうち、めのだけ小学校で運行された貸切バス使用によるスクールバス運行管理業務委託費の算出根拠である時間制運賃とキロ制運賃のうち、山鹿市が示した時間制運賃時間は過大で、国が示す運賃計算方法を採用すれば予算額や委託料を抑制できるとして運行時間の見直しを繰り返し訴えてきましたが、最終年度となる今決算でも減額変更がなされていません。つまり、運行時間の見直しはしないということです。見直さない場合の損害額は、具体的には受託事業者が入札時に提出した運行時間と運賃単価で試算すると、貸切バス3台（大型、中型、小型各1台）で1日当たり7時間、金額で2万9390円、3年間では5040時間、2116万800円が過大に支払われたと考えられます。

業務委託費は、7487万2800円です。実には委託費の約28・3パーセントにもなりません。（以上の金額はすべて消費税抜き）消費税込みでは約2242万円が過大に支出された計算です。

この過大な運行時間を積算基準として業務委託契約された、貸切バス使用のスクールバス運行管理業務委託費を認めることは、多額の公金が無駄に支出されたことを容認し、ひいては過大な運行時間採用の積算基準をも認めたことになるので反対する。

認定第1号

施設利用料金値上げなど、住民負担は増加。支援が必要との認識ならば、具体的方策で、民生費の執行率を上げ福祉の増進をはかる努力が必要。

保育士加算認定ができず、児童福祉費の不用額がでている。子育て支援をうたう本市は、確保努力が必要。危険で際限のない税金投入が必要なマイナンバー取得推進事業に反対

認定第2号

無収入の子どもへの均等割軽減や、基金活用や一般会計繰入れなども行い、低所得者が増えている被保険者の軽減を図るべきで反対

認定第3号

後期高齢者は年金給付削減、増税物価上昇などの影響で、滞納者が増加。納付促進ではなく負担軽減こそ行うべきで反対

認定第5号

介護保険料は増加の一方で、地域支援事業費は減少。介護保険法第129条は、3年で財政の均衡を保たなくてはならないとしている。介護保険料を取りすぎるなど許されず反対

てあり **しっかり手洗い** えきびょうたいさん **疫病退散!!**

山鹿犬子ひょうたん

ぎおんちゃん・ちよまる

©山鹿商工会議所青年部 / イラスト: 鹿子木 灯

かん せん よ ぼう **感染予防は**
て **手洗いから**

ただ **正しい手の洗い方**

1
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこずります。

2
手の甲をのぼすようにこずります。

3
指先・爪の隙を奥入りこずります。

4
指の間を洗います。

5
親指と手のひらをぬじり洗います。

6
手首も忘れずに洗います。

キレイに手を洗うポイント!

- ・爪は短く切っておく
- ・時計や指輪は外しておきましょう
- ・石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かす

マスク・うがいも
わすれずに!

山鹿市議会デジタル化へ

山鹿市議会では令和元年度からタブレット端末の導入に向けて協議・検討を重ね、令和2年9月議会より本格的に導入が開始されました。

スマートフォンの普及や電子決済の導入、昨今の新型コロナ禍におけるテレワークの拡大など、私たちの日常生活でもデジタル化が進んでいます。また、デジタル庁創設に向けた動きなど、国もICT(*)化を重点的に推進しています。

(*) ICT=情報通信技術。コンピューターやインターネット技術の総称。

ペーパーレス化

- 紙を減らし、環境への配慮・コスト削減を実現
- 業務効率化・職員の働き方改革



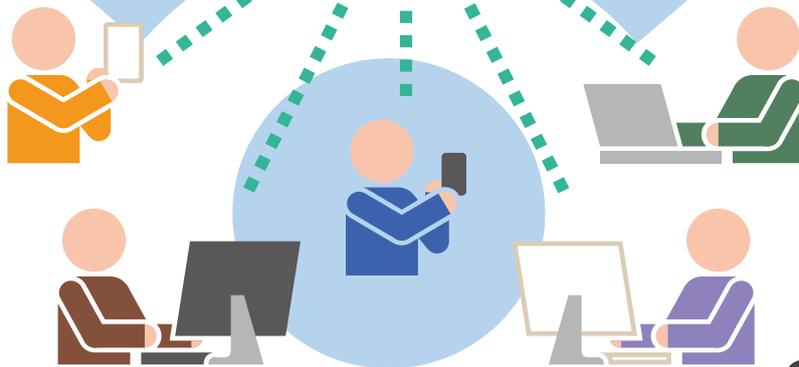
議論・審査の質向上・災害対応

- 膨大な資料や情報を携帯できる
- 災害時の安否確認、被災状況の情報伝達に力を発揮



情報提供の能力向上

- 市民の皆様へ、議員が市政の情報をわかりやすく説明できるツール（道具）として活用



タブレット端末は、開かれた議会の実現に向けて、必要不可欠のツールとなっています。市民の皆様にご寄与する議会構築のため、今後もデジタル化の推進による議会機能の活性化などに、不断の努力を行ってまいります。



タブレット端末

開かれた議会を目指して

～これからの議会報告会について～

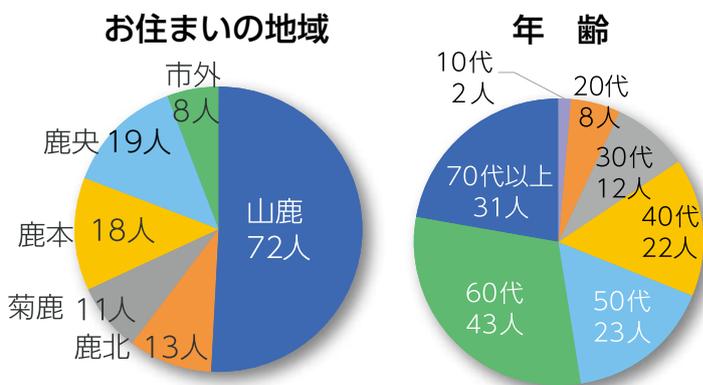
前号（第26号）巻末でお知らせしましたとおり、令和2年度の議会報告会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。

来年度以降の開催にあたり、参加者数の増加と内容のさらなる充実を図るためにアンケートを実施しましたので、結果をお知らせします。

皆様から頂いた意見を参考に、多くの方が参加されるように、開催時間、内容等を検討していきます。

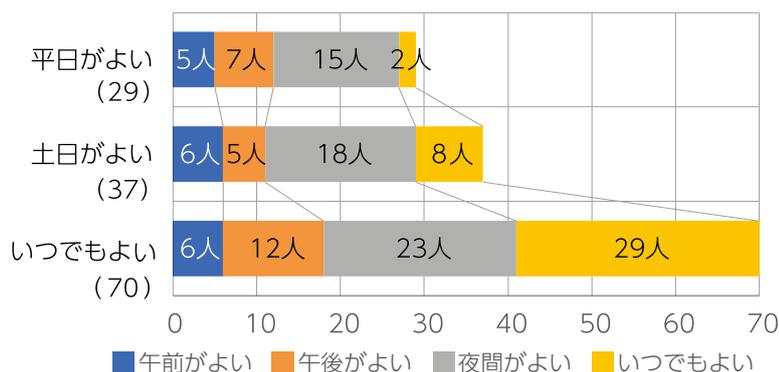
回答にご協力いただき、ありがとうございました。

回答者（141人）



昨年度に開催した報告会のようす

開催日及び時間帯



時間帯では「夜間」の開催希望が多く見られます。しかし、「夜間の移動に不安がある」との意見もあるので、昼間の開催も視野に入れて検討していきます。

お聞きになりたい内容（複数回答可）

※人数は「延べ人数」



報告だけではなく、「市民の声を聞いてほしい」「議員の意見を聞きたい」等の要望も多くありました。「意見交換」はテーマを設定するなど、内容の充実を図っていきます。

議会の主な動き

7月

- 1日(水) 広報広聴委員会
- 16日(木) 日本遺産に関する3市議会議長会議
- 20日(月) 建設経済常任委員会
- 22日(水) 広報広聴委員会
全員協議会
議会タブレット端末操作研修会
- 27日(月) 市議会災害対策支援本部会議

8月

- 4日(火) 市議会災害対策支援本部会議
議会タブレット端末操作研修会
- 16日(日) 大宮神社例大祭献幣の儀
- 18日(火) 広報広聴委員会
- 20日(木) 議会運営委員会
- 21日(金) 議会タブレット端末操作研修会
- 27日(木) 9月定例会開会
全員協議会
広報広聴委員会

9月

- 2日(水) 質疑・一般質問・委員会付託
- 4日(金) 議会運営委員会
建設経済常任委員会
- 8日(火) 市民福祉常任委員会
- 9日(水) 総務文教常任委員会
- 10日(木) 議会運営委員会
- 11日(金) 9月定例会閉会
全員協議会
広報広聴委員会
- 23日(水) 広報広聴委員会

議会を傍聴して

田中 明 さん(熊本学園大学)

これまで議会と聞けば、偉い立場にいる方々が集まって、難しいことを肅々と話し合っているというイメージが先行して、自ら足を運ぶ事ありませんでした。しかし台風による被害やコロナ禍で求められている措置などについて、熱を持って話されているのを聞くことができ、政治を間近に感じる事が出来ました。

持ったばかりの選挙権にも、真面目に向き合っていると思います。

小牧 日向 さん(熊本学園大学)

コロナ禍や豪雨災害、教育に関するものなど、市民のために議論をしていると感じました。

また、本当に市民の声が反映されていることを実感しました。

議員の皆さんが熱い気持ちを持って議会に出席していることがひしひしと伝わってきました。

私たち以外の傍聴者はすべて年配の方で、若い人に、議員の熱い思いが伝わらないのが残念です。

今後は周囲の人に議会を傍聴することの面白さを伝えます。

下田 悦 さん(熊本県立大学)

複数の議会を傍聴していますが、地域によって中身も雰囲気も全然違うことに驚きました。

議会のあの緊張する感じがなんとも言えず面白く、また自分の想いを時間内にしっかり伝える議員さんにとても憧れます。

自分も的確に相手に想いを伝えたり、まっすぐに分かりやすく質問したりできるようになりたいと心から思います。

若い世代にはぜひ一度は議会傍聴に参加していただきたいので、私たちがしっかり面白さや重要さを伝えていきます。



左から、田中さん、小牧さん、下田さん

編集後記

今年の春以後、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各種イベントの中止・不要不急の外出自粛が要請された。例年、9月下旬に各地区で開催していた「議会報告会」も、その例にみれず、中止せざるをえなかった。

そこで、本委員会では、「議会報告会」についてのアンケートを8月下旬から9月上旬に実施。その結果、141人の方からご回答をいただいた。その中から、今後の議会報告の「時期」・「時間」・「会場」等について、いろいろな事がはっきりと見えてきた。

これまでの「議会報告会」は、議員・議員の都合で開催してきた部分が思ったように感じる。今回、市民の皆様のお声を拝聴できたことは、今後の開催にとてもプラスになった(詳しい結果は、本議会だよりをご参照ください)。

山鹿市議会基本条例第5条には、「議会の活動に関する情報を積極的に公表し、市民との意見交換の場を多用に設け、議会報告会を年に1回以上開催する」と明記されている。今回のアンケートに記載された、市民の皆様のご貴重な意見・熱い想いを踏まえて、次年度以降の「議会報告会」は複眼(議員目線・市民目線)で設定し、より充実したものとなるように努めていきたい。

広報広聴委員会委員長

勢田 昭一